

# 「道州制答申」のポイント

〔平成18年2月28日〕  
地方制度調査会

## 1 現状の都道府県の課題

- ① 市町村合併の進展（3,223→1,821団体）
- ② 県を越える広域課題の増大  
ー 例：首都圏のディーゼル車規制・観光振興
- ③ 県は更なる分権改革の担い手たりうるか  
ー 47都道府県体制は明治21年以来

## 2 求められる「新しい国のかたち」

- ▽ 「国から地方へ」
  - ー 国の役割は重点化 → 国家的課題に力強く対応
  - ー 内政は広く地方公共団体が担う
- ▽ 「国と地方の双方の政府の再構築」によって  
「新しい政府像」を確立するためには、

「道州制の導入が適当と考えられる」

## 3 道州制の制度設計

- ▽ 47都道府県を廃止して道州を設置
- ▽ 区域は複数の都道府県単位が原則  
都道府県等の意見を聞き、法律で画定
- ▽ 県の事務は大幅に市町村に移譲
- ▽ 国の出先機関の事務はできる限り道州に移譲  
など

## 4 道州制導入の課題

- 〔 道州制の導入には広範な検討課題  
ー 国の政治行政制度の改革とも密接に関連  
国民生活にも影響

「答申を基礎として、国民的な論議が  
幅広く行われることを期待」